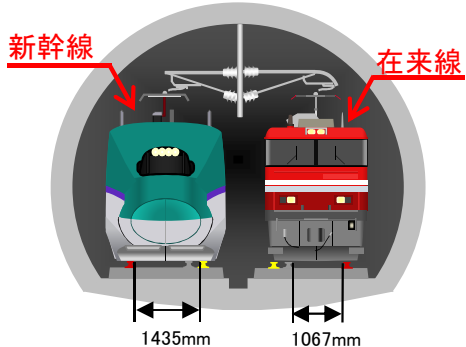


共用走行のイメージ



## 【高速走行実現に向けたこれまでの取り組み】

- ・新幹線高速走行中の貨物列車の誤進入を防止するシステムや高速確認車の開発、レールの削正等
- ・高速走行試験により走行の安全性を確認

## 【高速走行の実施】

- (1) 区間: 青函トンネル内(約54km)上下線※
- (2) 速度: 210km/h(現行は160km/h)
- (3) 実施時期: 令和2年12月31日～令和3年1月4日(5日間)
- (4) 所要時間: 現行より約3分短縮  
(東京・新函館北斗間の現行最速: 3時間58分)
- (5) 対象列車: 始発～15時半頃までの間に、青函トンネルを走行する新幹線上下各7本の計14本
- (6) その他: 今後、260km/hへの速度向上の早期実現を目指すとともに、さらに時間帯区分方式の段階的拡大の可能性についても、社会・経済的効果も踏まえながら、検討を進めていく。

※平成29年12月の交通政策審議会青函共用走行区間等高速化検討WGでは「下り線」としていたが、上り線でのレール削正も完了したことから「上下線」で実施可能となった。

## 【走行イメージ】

